

議会だより



市議会
ホームページ

発行 鎌ヶ谷市議会
編集 議会だより編集委員会
〒273-0195
鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷二丁目6番1号
電話 047(445)1191(直通)
FAX 047(445)2053

URL <https://www.city.kamagaya.chiba.jp/gikai/index.html>



ファイターズ鎌ヶ谷スタジアム ファームマスコット「C☆B (カピー)」と子どもたち (栗野児童センター)

3月会議

令和4年度一般会計予算をはじめとする5会計の当初予算を可決しました。

今会議では、市長から提出された議案等26件、議員から提出された発議案2件について審議しました。可決された議案は、鎌ヶ谷市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定についてなどです。なお、令和4年度一般会計予算をはじめとする5会計の当初予算案は、委員10人からなる予算審査特別委員会を設置して審査し、本会議において、審査の経過と結果が委員長から報告された後、採決の結果、賛成多数で可決されました。

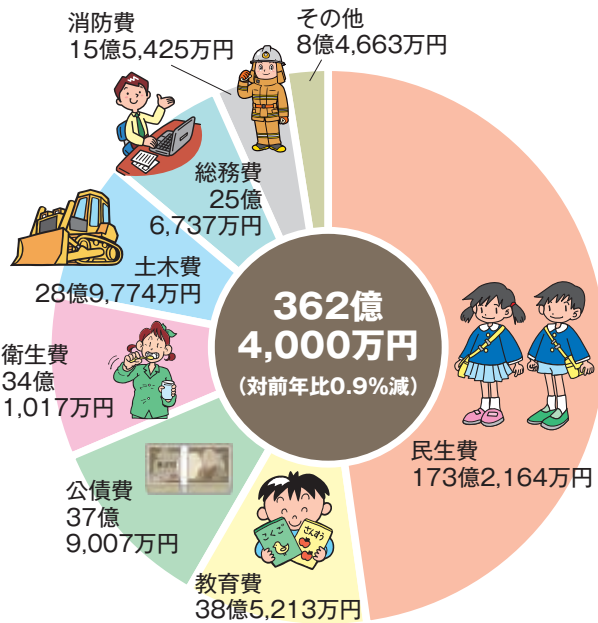
(審議の結果は4面に掲載)

令和4年度予算を可決

令和4年度一般会計予算のつかわれ方

令和4年度特別会計予算

- 国民健康保険 106億600万円 (対前年比4.5%増)
- 介護保険 94億9,100万円 (対前年比8.9%増)
- 後期高齢者医療 16億5,700万円 (対前年比7.5%増)



令和4年度 公営企業会計予算

下水道事業
収入 29億2,295万円
支出 34億4,724万円

※支出が収入に対し不足する分は、減価償却費等で補填

- 予算編成のポイント
- 1 「みんなでつくるふるさと 鎌ヶ谷」をめざして
 - 2 社会保障費(扶助費)の財源を優先的に確保
 - 3 公共施設長寿命化に向けた改修促進
 - 4 デジタル化の推進
 - 5 森林環境譲与税の活用

ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対して鎌ヶ谷市議会として決議しました

ロシアによるウクライナへの軍事侵略は、鎌ヶ谷市議会として断じて容認できないため、国に対し、国際社会と連携し、ロシア軍の即時撤収と速やかな平和の実現に全力を尽くすことを強く求めるため、決議しました。

ウクライナ人道危機救援金を送りました

ロシアによる軍事侵略に対するウクライナへの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を支援するため、鎌ヶ谷市議会として救援金22万円を送りました。

3月会議日程

2月17日(木)	開
2月17日(木)	会議期間の決定
2月17日(木)	議案の提案説明
2月17日(木)	議案1件の質疑・採決
20日(日)	お知らせ番号発行
22日(火)	議案に対する質疑
24日(木)	総務企画常任委員会
24日(木)	教育福祉常任委員会
25日(金)	都市市民生活常任委員会
28日(月)	予算審査特別委員会
3月1日(火)	予算審査特別委員会
4日(金)	一般 質問
7日(月)	一般 質問
8日(火)	一般 質問
9日(水)	一般 質問
11日(金)	委員長 報告
	追加議案の上程
	発議案の提出
	質疑・討論・採決
	散会

監査委員の選任に同意

現委員の徳田朗氏の任期が満了するため、同氏を再任することに同意しました。

教育委員会委員の任命に同意

現委員の任期満了に伴い、新たに根本恵美子氏を任命することに同意しました。

人権擁護委員の推薦について

現委員の任期満了のため、加郷由里子氏の再任と、新たに鈴木吉久氏を推薦することに意見を求められ、適任としました。

5月会議は5月中旬を予定しています。

市政に関する一般質問 3月会議は17名の議員が質問

新型コロナウイルス感染症対策について

小易 和彦 議員

問 今後の新型コロナウイルスワクチン接種の課題及び改善策について伺います。

答 小児接種を開始すること、ワクチンの種類が複数となること、接種対象者も5歳から11歳と12歳以上で初回接種の方、追加接種の18歳以上の方と複数となることから、接種会場が混雑が生じないようにはする必要があります。集団接種会場では、ワクチンご

とに曜日を分けて使用し、会場に当日使用するワクチン名を掲示するなど、混雑が生じないように対応します。



現在の集団接種会場の様子

本市のスポーツ振興について

伊福 幸一 議員

問 過去の一般質問で取り上げた総合型地域スポーツクラブ導入の進捗状況と、中学校やスポーツ施設にナイター設備を設置することへの見解を伺います。

答 総合型地域スポーツクラブについては、令和4年3月中旬に設立総会を開催し、令和4年度より活動がスタートして

きますよう最終調整を行っています。ナイター設備の設置については、航空法に係る高さ制限などの課題もあるため、引き続き研究、検証をしていきたいと考えています。

問 スケートボードやBMXをプレーできる施設の整備についての見解を伺います。

答 今後の課題として調査研究

佐藤 剛 議員

問 本市の学校給食費の状況について伺います。

答 令和3年度学校給食実施状況等調査では、千葉県内の小学校平均は月額4千609円、平均単価269円、中学校平均は月額5千424円、平均単価322円となっております。本市は、小学校が月額4千270円、日額255円、中学校が月額4千860円、日額291円であるため、県内の

保育料の減免、子ども医療費の高校生までの助成など、教育、福祉全般にわたり、保護



自殺対策について

鈴木 哲也 議員

問 悩みを抱えた児童・生徒がいつでも簡単に相談窓口

にアクセスできる手段として、昨年の3月会議で提案したLINEによるプッシュ型の情報発信、市のツイッターやフェイスブックを活用した定期的な情報発信、現在推進しているQRコード付きのチラシ

及びメッセージカード配布の更なる推進、スマホを持っていない児童・生徒への対応として現在学校で配付している学習用端末を活用した相談窓口へのアクセス方法の拡充など、多様な選択肢の提供を要望しますが、本市の見解を伺います。

答 児童・生徒がいつでも簡単に相談窓口

にアクセスできる手段については、関係機関



市ホームページ上で相談窓口を紹介

と連携し、子どもたちに配慮している学習用端末からでもできるよう、検討していきます。

鎌ヶ谷市の救命救急体制について

松澤 武人 議員

問 搬送者の傷病程度

の状況について伺います。

答 令和3年は、入院を必要としない軽症2千190人、入院が必要な中等症2千719人、入院が必要となる重症408人、死亡78人で、そのほか、病院に収容したが、受診しなかった人が1人いました。割合としては、中等症が全体の50・4%、軽症が全体の40・6%です。

問 全国版救急受診アプリ「Q助」と救急安心電話相談とはどのようなものか伺います。

答 全国版救急受診アプリ「Q助」は、総務省消防庁が主体となり、急な病気やけがをしたときに該当する症状を画面上で選択し、緊急度判定

を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供するスマートフォン用アプリです。



子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）の接種について

富田 信恵 議員

問 HPVワクチンは、接種後に副反応の報告が相次ぎ、

積極的勧奨を差し控える事態となりました。その後、接種による有効性が、副反応のリスクを上回ると認められ、本年4月より積極的勧奨が再開されることとなりますが、対応を伺います。

学校給食費の無償化について

佐竹 知之 議員

問 多子世帯における第3子以降の給食費の無償化を進めた場合、その対象者数と必要となる予算額を伺います。

答 令和4年度予算案では、第3子以降学校給食費減免制度として対象の児童・生徒数を420人とし、合計1千5万9

高齢者の「聞こえづらさ」の状況について

松原 美子 議員

問 本市では聞こえづらさの状況把握を、どのように行っていますか。

答 難聴があると、他者とのコミュニケーションが取りにくくなり、閉じこもりがちになりやすく、また、認知症の発症リスクを高める要因にも

電話de詐欺（振り込め詐欺等）対策について

宗川 洋一 議員

問 本市の電話de詐欺の被害状況を伺います。

答 令和3年の被害件数は42件、被害総額が1億3千564万円でした。県内市町村別人口

1万人あたりの被害金額では本市が最も多く、約1千234万円となっております。

して接種できる体制を構築していきます。

問 積極的勧奨の差し控えにより無料接種機会を逃した方への対応を伺います。

答 平成9年4月2日から平成18年4月1日生まれの女子約4千700人が本年4月から3年間の期限付きで接種対象となります。今後、国や県等の動向を注視し、接種体制や対象者への周知方法などについて、市医師会等と協議しながら体制を構築していきます。

を半額ではなく無償化を段階的に進めていく考えはないか伺います。

答 現時点において、段階的な無償化の計画はありませんが、近隣の市の実態調査や将来的に持続可能な学校給食の在り方などを引き続き研究していきたいと考えています。

た聞こえづらさについてのアンケートによると、回答した115名中、108名から「補聴器の助成制度を希望する」との回答がありました。補聴器購入費助成制度の導入について市の見解を伺います。

答 急増している介護給付など優先すべき事業を勘案し、他自治体の状況、国の動向などを注視し検討していきたいと考えています。

問 今後の電話de詐欺の具体的な対策を伺います。

答 留守番電話機能の活用を推奨するとともに、様々な電話de詐欺対策機器やサービスの有効性を周知しつつ、詐欺対策機器の貸出しや購入補助事業については、AIを活用した電話de詐欺対策なども含め、調査研究を継続していきます。

鎌ヶ谷市における新型コロナウイルスの感染状況と市独自策の進展について問う

津久井 清 氏 議員

問 子育て世帯への給付金は世帯主に支給されますが、DV被害等で別居中の女性への支給について伺います。

答 国の給付金では、要件に該当すれば別居中の被害者に支給されますが、DVの事例は様々であり、国の要件に該当しない場合でも市独自事業として支給しています。

問 松戸市では、新型コロナウイルス感染症により自宅療養中の方で生活必需品の購入が困難な

市制施行50周年を迎えた中での今後のまちづくりについて

大野 幸一 議員

問 現在策定中の都市計画マスタープランについて、今後のまちづくりについて、今後の反映させていくのか伺います。

答 都市計画マスタープランは、まちづくりの指針となるもので、策定中の案では、中沢地区を緑とふれあいのある空間として形成することとし、また、今後整備が予定される北千葉道路の沿道などは、広域交通の利便性が高い地区であることから、産業の振興や

交差点の安全対策について

森谷 宏 議員

問 交差点に歩車分離式信号を導入する条件を伺います。

答 歩車分離式信号に関する指針では、3つの条件のいずれかに該当する交差点とされています。1つ目は歩車分離式信号であれば防止することができたと考えられる事故が過去2年間で2件以上発生、または危険性が高いと見込まれること。2つ目は公共施設の近くや通学路にある交差点

いますか。問 教職員のワクチン接種を先行して実施しています。また、3密を避けるなど感染対策を徹底しています。



添った住みやすいまちづくりを目指します。財政的な制約はありますが、未来に向かって成長していく本市のイメージを具体化すべく、しっかりと取り組んでいきます。



中で、歩車分離式信号の設置について、メリットやデメリットを踏まえ警察と意見交換や協議を行い、引き続き実施可能な安全対策を警察と検討していきます。



大津川流域の治水対策について

中村 潤一 議員

問 水害の状況を伺います。

答 令和2年度までの10年間で、佐津間、栗野、北初富、南初富、串崎新田において、台風や集中豪雨による床上床下浸水が11回、道路冠水が17回発生しています。主に、北部公民館付近や長谷津沿いなど7地区で被害が発生しています。

問 通学路の冠水箇所と児童生徒の安全確保について伺います。

答 北部小学校、西部小学校、第三中学校の各通学路に当たる、北部公民館、第三中学校

教職員の働き方について

後関 俊一 議員

問 教職員の勤務実態について伺います。

答 勤務時間は1日7時間45分です。千葉県教育委員会の調査によると、学級担任や部活動顧問といった校務分掌は多忙感と大きな相関がみられ、経験の浅い教諭等は在校時時間が長くなる傾向があり、若年層への支援や働き方の意識改革を進めていく必要があります。

問 先生が急遽休みを取らざるを得ない時、児童生徒の学習はどのように行っていますか。

答 ICTを使った自学自習

高齢者が安心して暮らせる取り組みについて

葛山 繁隆 議員

問 高齢者を取り巻く状況がコロナ禍でどのように変わってきたか伺います。

答 新型コロナウイルスの感染拡大により、高齢者を取り巻く環境は大きく変化しています。基礎疾患を有する高齢者は、新型コロナウイルスに感染した場合、重篤化しやすく、高齢者の活動は著しく制限されるようになりました。また、感染状況を考慮し、各

第4次鎌ヶ谷市歩道等総合整備計画について

河内 一朗 議員

問 策定方針にある高齢者、障がい者、子どもなどの安全確保に重点を置いた歩道整備について、具体的な内容を伺います。

答 有効な対策としては歩行者空間の確保がありますが、スペースなどの制約により歩道を設置できない道路などについては、防護柵や歩車分離標を設置し、また、運転者が歩行者空間を視覚的に把握する路側帯カラー舗装、グリー

問 保育園の近くなど、子どもたちが多用する歩道へのガードレールの設置について伺います。

答 設置しようとする歩道の幅員が狭い場合には歩行者空間がさらに狭くなることや、沿道の出入口付近の場合には近隣の方のご理解やご協力が

市民サービス向上にむけた市独自のデジタル化の取り組みについて

矢崎 悟 議員

問 新型コロナウイルス感染症対策の情報などを、いち早く多くの市民に知らせるため、プッシュ式の情報発信の仕組みが必要と考えますが、市の見解を伺います。

答 市ホームページやSNSを活用し、積極的な情報発信をしているところですが、伝達手段の選択肢を広げるため、かまがや安心eメールでの発信にも取り組んでいきます。また、新型コロナウイルスワクチン接

問 ひとり暮らしの高齢者は今後さらに増えていくと予想されており、デジタル技術を活用した見守り支援を検討していくべきと考えますが、市の見解を伺います。

答 デジタル機器を活用し、高齢者その恩恵を実感できる取り組みは必要であり、高

イルスの感染防止対策を行いながら健康維持に努めるためには、運動、栄養、人とのつながりの3つのポイントが重要となります。



必要となるなど課題があります。ガードレールの設置が困難な場所の安全対策については、警察などと協議し対策を講じていきます。



齢者等に負担の少ない確実な見守り支援について調査研究していきます。



議案に対する質疑

各会派の代表者が市長の提出議案に対して、質疑しました。

政友会 森谷 宏

議案第3号

市独自の休暇を新設する理由とプライベートへの配慮等、休暇を取得しやすくなるための環境整備について伺います。

近年の晩婚化などにより働きながら不妊治療を受ける人が増加傾向にあります。厚生労働省の調査によると精神面で負担が大きいこと、通院回数が多いことなどから仕事と治療の両立ができていない人が離職しています。国では、令和4年1月より出生サポート休暇として年間5日、生殖補助医療の通院の場合には、上限10日間の有給休暇を創設しました。本市においても、国と同様の出生サポート休暇を創設し、職員が安心して不妊治療を受けやすい職場環境の整備を図るため、生殖補助医療に伴う頻繁な通院や

様々な体調管理を行うことができるよう、出生サポート休暇の長期として、1年を超えない範囲で月または週単位で取得できる無給の休暇制度を整備しました。これにより、様々な事情を有する職員も勤務を継続し、キャリアを形成していくことが可能となり、キャリアデザインを描くことができる職場として優秀な人材の確保につながるものと考えています。

次に、プライベートへの配慮については、生理休暇や子育て休暇、介護休暇などを総称し、ライフサポート休暇とすることでプライベートへの配慮を図るとともに、職場の理解が重要であることから、研修などを通じて職員が不妊治療のための休暇を取得しやすい職場風土を醸成し、職場内での理解を図ってまいります。

公明

議案第2号

条例改正による市民生活及び市の業務の影響について伺います。

本市の個人情報保護条例の引用部分は、条例に規定する個人識別符号等の用語の定義について、行政機関個人情報保護法等の法律上の用語の定義がかわらないこと、また、条例の意図するものに変更がないことから、市民生活及び市の業務のいずれにおいても特に影響はないものと認識し

党鈴木 哲也

ています。また、条例改正の背景を踏まえますと、社会全体のデジタル化に向けた取組の一環に資するものと考えています。



未来フォーラム 三橋 一郎

議案第6号

小中学校の修学旅行の実施状況について伺います。

現在、小学校は9校全てが宿泊で実施し、中学校は、5校全てが延期となつていますが、内容については、宿泊ではなく、日帰りでの実施を予定しています。なお、中学校5校のうち、日帰りでの修学旅行を2回実施予定として



いる中学校が2校あり、2校とも1回目は実施しています。

日本共産党 佐竹 知之

議案第4号

国民健康保険料について、未就学児の均等割額を5割軽減とした理由を伺います。

国民健康保険法は扶養という制度がなく、被保険者の多い世帯が被保険者の少ない世帯より多くの応益負担を行うことが合理的であるとされていることから、未就学児などの負担能力がない被保険者

についても、均等割が賦課されています。厚生労働省社会保障審議会医療保険部会において、国保財政に与える影響等を考慮しながら、未就学児の均等割額を公費で最大5割軽減する仕組みが了承されたことを踏まえ、国の方針に従い、未就学児の均等割額の軽減割合を5割として実施するものです。

立憲民主党 河内 一朗

議案第15号

市制記念公園の今後の安全管理について伺います。

施設の構造や劣化などによる変形や異常の有無について、日頃から確認を行っていますが、今回のような事故の

再発防止のため、改めて情報収集、事故の記録、施設の点検を行うとともに、これに基づき施設の修繕や更新などを行い、利用者の安全性の確保に努めてまいります。

請願・陳情を提出される方へ

請願・陳情はどなたでも提出することができます。が、定例の会議で審議を希望する場合は、議会事務局窓口へ直接提出してください。○請願書は、議員の紹介が必要です。(※陳情書は不要)○要旨は簡潔、明瞭に記載してください。○内容が多岐にわたる場合は、それぞれ別の請願書(陳情書)に分けてください。なお、郵送により提出された陳情は、その写しを全議員に配付しますが、審議はいたしません。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

予算審査特別委員会

令和4年度鎌ヶ谷市一般会計、3特別会計及び1事業会計予算について審査を行います。

令和4年度は8千884万9千円を計上し、用地の取得や取得済み用地の道路整備工事を進める予定で、第2期区間における用地取得率は約40パーセントとなる見込みです。引き続き、早期供用を目指し用地取得及び道路整備工事等を実施してまいります。

総括

芝田市長が就任して初めての予算編成でしたが、市長の思いを伺います。

市民の声を大切にしつつ、持続可能な財政運営を念頭に置いた予算編成を心掛けました。限られた財源の中で事業の優先度を判断しなければならず、まずは、緊急に取り組むべき事業としてコロナ対策、子育て支援、北千葉道路の整備を見通したまちづくりに必要な予算措置を行いました。

また、併せて福祉、教育、産業振興、防災対策、都市基盤整備など、さまざまな分野において可能な限りの予算措置を行いました。

固定資産税を増額した理由を伺います。

令和3年度限りの特例措置として、土地については、負担調整措置等により税額が増額する土地に対し、前年度の税額に据え置く措置が講じられ、家屋についても、売上高が減少した中小企業者に対し、事業用家屋及び償却資産に係る軽減措置が講じられましたが、令和4年度はそれらの特例がなくなることから増額しました。償却資産については、新規の設備投資など経年数による原価額を上回るほどではないとして微増で推移すると見込みました。

歳入

令和3年度限りの特例措置として、土地については、負担調整措置等により税額が増額する土地に対し、前年度の税額に据え置く措置が講じられ、家屋についても、売上高が減少した中小企業者に対し、事業用家屋及び償却資産に係る軽減措置が講じられましたが、令和4年度はそれらの特例がなくなることから増額しました。

償却資産については、新規の設備投資など経年数による原価額を上回るほどではないとして微増で推移すると見込みました。

歳出

令和3年度限りの特例措置として、土地については、負担調整措置等により税額が増額する土地に対し、前年度の税額に据え置く措置が講じられ、家屋についても、売上高が減少した中小企業者に対し、事業用家屋及び償却資産に係る軽減措置が講じられましたが、令和4年度はそれらの特例がなくなることから増額しました。

償却資産については、新規の設備投資など経年数による原価額を上回るほどではないとして微増で推移すると見込みました。

令和3年度限りの特例措置として、土地については、負担調整措置等により税額が増額する土地に対し、前年度の税額に据え置く措置が講じられ、家屋についても、売上高が減少した中小企業者に対し、事業用家屋及び償却資産に係る軽減措置が講じられましたが、令和4年度はそれらの特例がなくなることから増額しました。

償却資産については、新規の設備投資など経年数による原価額を上回るほどではないとして微増で推移すると見込みました。

令和3年度限りの特例措置として、土地については、負担調整措置等により税額が増額する土地に対し、前年度の税額に据え置く措置が講じられ、家屋についても、売上高が減少した中小企業者に対し、事業用家屋及び償却資産に係る軽減措置が講じられましたが、令和4年度はそれらの特例がなくなることから増額しました。

償却資産については、新規の設備投資など経年数による原価額を上回るほどではないとして微増で推移すると見込みました。

令和3年度限りの特例措置として、土地については、負担調整措置等により税額が増額する土地に対し、前年度の税額に据え置く措置が講じられ、家屋についても、売上高が減少した中小企業者に対し、事業用家屋及び償却資産に係る軽減措置が講じられましたが、令和4年度はそれらの特例がなくなることから増額しました。

予算審査特別委員会委員

委員長	小易 和彦
副委員長	中村 潤一
委員	後関 俊一
委員	葛山 繁隆
委員	宗川 洋一
委員	松原 美子
委員	富田 信恵
委員	森谷 宏
委員	佐藤 剛
委員	河内 一朗



令和4年3月会議の審議結果一覧

議案番号等	件名	審議結果	議案番号等	件名	審議結果
議案第1号	令和3年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算(第12号)	原案可決 全会一致	議案第16号	権利の放棄について	同意 全会一致
議案第2号	鎌ヶ谷市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数	議案第17号	和解について	原案可決 全会一致
議案第3号	鎌ヶ谷市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致	議案第18号	鎌ヶ谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第4号	鎌ヶ谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致	議案第19号	鎌ヶ谷市職員の給与に関する条例及び鎌ヶ谷市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
議案第5号	鎌ヶ谷市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例及び鎌ヶ谷市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致	議案第20号	鎌ヶ谷市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第6号	令和3年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算(第13号)	原案可決 賛成多数	議案第21号	鎌ヶ谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第7号	令和3年度鎌ヶ谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致	議案第22号	令和3年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算(第14号)	原案可決 全会一致
議案第8号	令和3年度鎌ヶ谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決 全会一致	同意案第1号	監査委員の選任について	同意 全会一致
議案第9号	令和4年度鎌ヶ谷市一般会計予算	原案可決 賛成多数	同意案第2号	教育委員会委員の任命について	同意 全会一致
議案第10号	令和4年度鎌ヶ谷市国民健康保険特別会計予算	原案可決 全会一致	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任 全会一致
議案第11号	令和4年度鎌ヶ谷市介護保険特別会計予算	原案可決 全会一致	諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任 全会一致
議案第12号	令和4年度鎌ヶ谷市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 賛成多数	発議案第1号	ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議	原案可決 全会一致
議案第13号	令和4年度鎌ヶ谷市下水道事業会計予算	原案可決 全会一致	発議案第2号	鎌ヶ谷市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第14号	鎌ヶ谷市立南部小学校体育館改修工事請負契約の締結について	同意 全会一致			
議案第15号	和解及び損害賠償の額を定めることについて	原案可決 全会一致			

※審議の詳細な内容については、6月上旬に市議会ホームページに掲載される会議録をご覧ください。

(お知らせ) 次回の定例会議号は、8月15日(月)発行予定です。